

一生泳いでいる魚

マロウやカサガシ等大型回遊魚は、一時も体はこたなく泳ぎ回っています。これは酸素を取り入れるため。速いスピードで泳いでいるので水中に溶けている酸素をエラから送り込まなければ死んでしまうからです。



生物の授業に役立つかも?!



牛海日お乳が出る?! のは

乳牛は、人工的に14ヶ月に一度妊娠させています。人間は赤ちゃんを出産前後に母乳が出ますが、乳牛の場合人間よりはるかに長い期間にわたって母乳が出ます。お乳を搾らないのは出産直前の2ヶ月のみ。お乳の期間はずっと搾り続けています。

生きものどーがっおもしろ雑学

ニワトリが朝鳴くのは?!

ニワトリは朝になると目が見えよせしから、じつ胸に震わされるから不安ですね。でも朝に目が見えよせしから、その喜びを一番に鳴くのだという学説があります。本来、鳥が鳴くのは、求愛と縄張りを主張するための行為といわれています。

が、ニワトリは人間に品種改良されてきているので、野生の感覚は薄れてしまっています。

だから朝鳴くのかも?!



コケコケ

ツバメは体の中の特殊な器官で、太陽や星座を見てその方向を判断して、数千キロがたの海を渡ることができます。ただ、空が曇る時や大雨の時などはこの特殊な感覚が鈍るので、途中で方向を失ってしまうことがあります。現在の統計では、前の年の巣に戻ってくるツバメは、30~40%といわれています。(詳細不明)



ツバメが同じ巣に帰ってくるのは?!

クモの糸の原料は?!

意外に知らなかった人も多いでしょうが、クモは自分が張った古い糸を食べて消化してしまい、またそれを新しい糸を作る材料として利用するという、環境に優しい昆虫でもありません。またクモの糸は体内では粘液状になっていますが、お尻に体のさうな出液管という管から粘液を出すと空気に触れた途端固まります。

これがクモの糸となります。(すべての種とは異なります)

